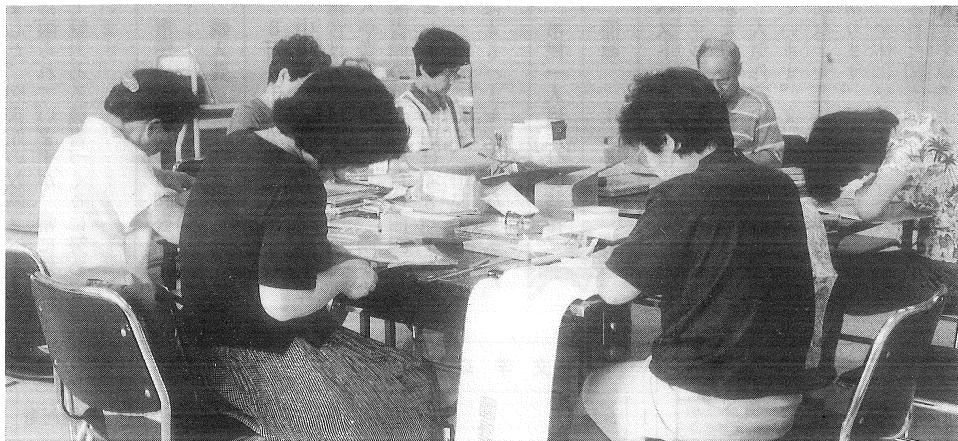


No. 43

1999年10月31日発行
 宇治市中央図書館
 〒611 宇治市折居台1-1
 -0023 0774(20)1511

宇治市東宇治図書館
 〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-1
 -0011 0774(32)2232

宇治市西宇治図書館
 〒611 宇治市小倉町山際63-1
 -0042 西小倉地域福祉センター3階
 0774(22)8240



「修理ボランティア」活動中

「芸亭」(うんてい)のこと

宇治市中央図書館館長 山本徳善

国道二十四号バイパスを南下して奈良市内に入ると、すぐ右手に市立一条高校が見えてくる。と同時に高校の隣とバイパスとの間に『日本最初の公開図書館・芸亭伝承地』といった顕彰柱も視界に入ることになるのだが現地はかなり交通量の多い場所であるために、車の中からじっくりと見ることは難しい。

この顕彰柱は、昭和四十六年十月奈良県図書館協会が、石上宅嗣卿の業績をたたえて建てたものであり、説明板には『芸亭は今から千二百余年前、奈良朝の頃大納言石上宅嗣卿が邸宅を提供して阿闍寺とし、その一隅に設けたわが国最初の公開図書館である。そこには数多くの儒書等を備え、好学の人々に自由に閲覧させたと続日本紀に書かれている。

芸亭の位置については古来多くの学者によつて研究されてきたが、現在では、一条高校付近だといわれている。奈良県図書館協会では、宅嗣卿の業績をたたえるとともに、芸亭の存在をひろく世に認識され、その趣旨が今に生かされるよう、ここに顕彰柱を建て、永くこれを記念するものである』と書かれている。

奈良時代といえば、わが国は中国（当時の唐）へ使いを遣わし、当時としては世界的な文明都市であった長安や仏教の諸寺の文化を導入すべく、稚拙な船と航海術で文字通り命懸けの文化吸収を行つていたとされる時代である。そうした命を賭して得た文物の価値が如何ばかりであったかは想像にかたくない。

今はまだ、道路脇の植え込みの中に顕彰柱だけがひっそりと建っているだけで、芸亭の名さえ知る人も少なく陰に隠れた感が深いが、日本最初の公開図書館としての『芸亭』は、本来ならば文化史跡として指定されるべき貴重な存在である。そしてまた、はるかな上代に一私人の所蔵する数多くの書物を、広く一般に開放したという文化人の業績に思いを馳せることも意義あることと思われる。奈良・大和路散策の折には、一度足を運ばれることを是非おすすめしたい。

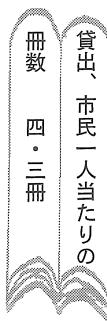
10年度 貸出冊数、80万冊突破！

平成10年度の宇治市の図書館の貸出冊数（中央・B.M・東・西）は82万4,681冊でした。各館とも9年度に比べて貸出は伸びており、長く減少傾向にあった移動図書館の貸出も上昇に転じています。

これは、東宇治・西宇治の地域にも図書館が出来て、図書館がより身近なものとして暮らしの中に定着してきたものと思われます。

図書館の利用層も、以前の児童・主婦の利用から、学生・ビジネスマンや中高年の利用が顕著に増えています。中央図書館では、日曜日は、3千冊を超える貸出も珍しくなく、今後は図書館資料の内容のより充実が求められています。

蔵書は26万4千冊に！
平成10年度は、全館で33
70万円の図書購入費で、1万
9千663冊の新しい図書を購入しました。



貸出、市民一人当たりの
冊数 四・三冊
貸出、市民一人当たりの
冊数 1・4冊
ベストリーダーは！

市民一人当たりの蔵書
冊数 8万9千人が登録！

購入費 176円

全館の蔵書は26万冊を超えました。図書館の収納スペースは限られていますが、常に新鮮で魅力ある蔵書づくりに努めています。

市民一人当たりの図書

平成10年度にはどんな図書がよく読まれたのでしょうか。人気作家の小説が上位を占めています。文学以外では、話題になった芸能人の著作が上位にあります。全体にマスコミ等で大量宣伝された図書がベストリーダーに入っているようです。



館内では静かに…ねつ

文 学 以 外		
1. ふたり	唐沢寿明	186
2. ひ弱な男とフワフワした男の国日本	マークス寿子	107
3. 脳内革命2	春山茂雄	103
4. 他人をほめる人けなす人	F.アルベローニ	92
5. ダディ	郷ひろみ	89

文 学		
1. 少年H 上下	妹尾河童	201
2. 失楽園 上下	渡辺淳一	191
3. 遺骨	内田康夫	173
4. レディジョーカー 上下	高村 薫	164
5. 大河の一滴	五木寛之	162

中央図書館では、図書館法第十四条に基づいて図書館協議会を設置しています。図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。

お知らせ

図書館協議会委員さんの紹介 敬称略

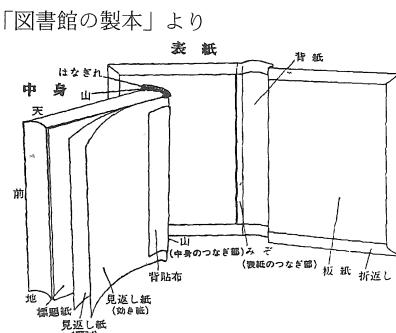
（任期 平成十一年六月一日～平成十三年五月三十日）

会長 池本 甫（文化財愛護協会理事長）
任期 平成十一年六月一日～平成十三年五月三十日
嶌 真下 昌子（大開小学校校長）
荒岡興太郎（京都精華大学教授）
野口 優子（リーディングボランティア会員）
三角 清子（児童文庫連絡会会員）
村田 尚子（読書クラブ協議会会員）

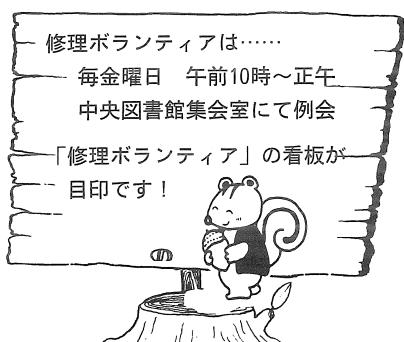
本の修理 ボランティア

中央図書館で活動!

皆さん、日頃からよく手にする本は、どのような構造になつているかご存知ですか。現代は「洋装本」が中心となり、これを解体してみるとおおよその図のようになっています。



ところで、図書館で人気の本や古くなつた本は当然のことく破損。痛みが激しく、一ヶ月に約三百冊もの破損本が回収されます。事務室内は、まさに破損本の山です。そんな折、今年の一月に開催された「製本と修理講習会」をきっかけ



図書館では、現在も本の修理のお手伝いをして頂ける有志の方を募っています。少しでも興味を持たれた方は、「修理ボランティア」の例会にお気軽に遊びに来て下さい。

けに、有志の方々で「修理ボランティア」を結成、十数名のメンバーで週一回活動してもらっています。活動の内容は主にページの外れた本をのりで貼る、縫うといったものです。和気あいあいとした雰囲気の中にも、ときには手先に集中し、静まり返ることもある。メンバーの皆さん、真剣な表情と熱心なボランティア精神には、ただただ驚かされ敬意の念でいっぱいです。

渡辺栄子さんにお願いしました。今日は宇治琵琶にお住まいの、

図書館へようこそ

利用者に インタビュー

第29回

渡辺 栄子さん



★図書館はよく利用されますか。
市民図書室の頃から利用しています。
今は週に一度は来ています。
☆本はよく読まれるんですね、どう
ような本を読まれますか。

利用者端末は、本をしらべる目録です。小さなお子さんの遊び道具ではありません。ご協力お願いします。



本は年に二百冊くらい読んでいます。主に読むのは、エッセイや生き方などの本が多いです。辛い時など、本によっていろいろ教えられ、また励まされてきました。★図書館も変わつて来ましたが、最近何か感じられたことなどありますか。

予約やりクエストの本など早く用意してもらつてありがとうございます。

利用者端末でよく子供が遊んでいるので、調べたい時など困ることがあります。

★これからも図書館を大いに役立ててください。

どうもありがとうございました。

郷土のはなし

旦椋の七つ塚

宇治市の西端に大久保町あさべ旦椋あさべという地名があります。旦椋という名の由来は、古くは穀物倉庫として用いられた校倉が転訛したものと考えられ、この付近に校倉があつたことを伺われます。現在大久保町北ノ山にある旦椋神社は、もとこの地にあったのを、十六世纪に今の地に移転されたと言われています。

ところで、この旦椋にはかつて七つの塚があつて、人々は七つ塚と呼んでいました。この塚は古墳であると伝えられるとともに、野神さんとして崇められていました。江戸時代に発行された『山州名跡志』に、

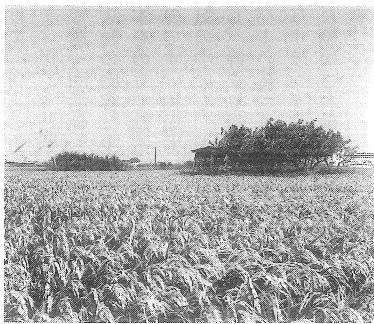
七ツ塚 大久保民居西三町許にあり、小塚七ツあり、其の間二、三町隔つ

と、七つ塚を紹介していますし、また他にも大久保村を描いた古絵図の中にも塚が描かれています。七つ塚の中でも特に最も西端にあつ

た塚には、神祠が祀られ、人々から「七ノ社」と呼ばれ、かつては毎年正月に、大久保をはじめ付近の人々は「七社参り」といって、この塚に参詣する風習がありました。

しかし、昭和四十九年（一九七四）に、この付近に府営住宅建設されるにともない、七つの塚の発掘調査が行われました。その結果古墳時代の高塙や平安時代の須恵器、瓦器、江戸時代の茶碗などが出土しましたが、旦椋神社の遺構を示すものとか、古墳であったかどうかを明らかにするようなものは何も出てきませんでした。

現在では、府営住宅が建ち並び、昔の面影は何もありませんでした。



あとがき

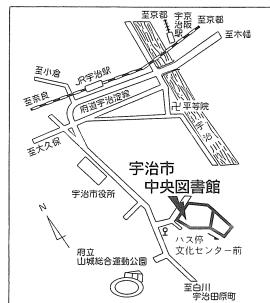


- 今年の秋の読書週間の標語は、「あと一ページがとまらない……」こんな気持ちにさせてくれる本に、ぜひ図書館で出会ってください。
- 秋から冬にかけては、宇治の名所旧跡めぐりもいいものです。
- 「琴坂の紅葉」・「萬福寺の雪景色」など、情緒あふれる風情を感じられる場所が身近に多くあります。

利用案内

- ・市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、1人5冊3週間（そよかぜ号は約1ヶ月）本が借りられます。貸出券は全館共通です。
- ・図書館は9時から17時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始です。

中央図書館



西宇治図書館

